

2025 年度入試 十文字学園女子大学 教育人文学部

文芸文化学科 総合型選抜 課 題（小論文）

【注意事項】

- 1 開始後、小論文用紙の所定欄に受験番号と氏名を記入してください。
- 2 題名欄については、各自題名を自由につけて記入してください。
- 3 小論文用紙は、横書きで記述してください。
- 4 文字数は 720 字以上 800 字以内です。

以下の文章は会話のできない中学生が綴った自身の障害についての文章です。これを読み、近年の技術革新をふまえて、「ことばのバリアフリー化」について考えたことを、720文字以上 800字以内で論じてください。内容にふさわしい題名も付けて下さい。

僕たちの障害

自分自身が障害を持っていることを。僕は小さい頃はわかりませんでした。どうして、自分が障害者だと気づいたのでしょうか。

それは、僕たちは普通と違うところがあってそれが困る、とみんなが言ったからです。しかし、普通の人になることは、僕にはとても難しいことでした。

僕は、今でも、人と会話ができません。声を出して本を読んだり、歌ったりはできるのですが、人と話をしようとすると言葉が消えてしまうのです。必死の思いで、1~2単語は口に出せることもありますが、その言葉さえも、自分の思いとは逆の意味の場合も多いのです。また、人に言われたことに対応できないし、精神的に不安定になるとすぐにその場所から走って逃げてしまうので、簡単な買い物さえも、一人ではできません。

なぜ、僕にはできないの……

悔しくて悲しくて、どうしようもない毎日を送りながら、もし、みんなが僕と同じだったらどうだろう。と考えるようになりました。

自閉症を個性と思ってもらえたら、僕たちは、今よりずっと気持ちが楽になるでしょう。みんなに迷惑をかけることもあるけれど、僕らも未来に向かって楽しく生きていきたいのです。

僕は、会話はできませんが、幸いにも、はぐくみ塾の鈴木さんとお母さんとの訓練で、筆談というコミュニケーション方法を手に入れました。いまでは、パソコンで原稿も書けるようになりました。

でも、自閉症の子供の多くは、自分の気持ちを表現する手段を持たないのです。ですから、ご両親できえも、自分のお子さんが、何を考えているのか全くわからないことも多いと聞いています。

自閉症の人の心の中を僕なりに説明することで、少しでもみんなの助けになることができたら僕は幸せです。

(中略)

人は見かけだけではわかりません。中身を知れば、その人ともっと仲良くなれると思います。自閉の世界は、みんなから見れば謎だらけです。少しだけ、僕の言葉に耳を傾けてくださいませんか。そして、僕たちの世界を旅してください。

『自閉症の僕が飛び跳ねる理由 会話のできない中学生がつづる内なる心』

東田直樹